

地域ぐるみで 読書活動を 推進！

～学校が家庭、地域と連携し、
読書活動を推進する～

家庭・地域との連携による読書活動の推進

子どもの読書活動を推進していく上で、学校が過程・地域と連携して地域ぐるみで子どもの読書活動を推進することが重要である。(中略)多様な経験を有する地域の人材の協力を得ていくことにより、児童生徒の読書に親しむ態度の育成や読書活動の推進に資する様々な活動を推進していくことが可能となる。－「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」第5章 子どもの読書活動推進のための方策 Ⅲ学校等における子どもの読書活動の推進(平成25年5月)より－

静岡県総合教育センター生涯学習推進室には、今年度も、各学校が取り組んできた、子どもの読書活動の様子についての様々な報告が届きました。

今回はその中でも、学校とボランティアが連携をして読み聞かせ等の読書活動を推進している取組について紹介します。

絵本作家を招いてのワークショップー三島市立南小学校図書ボランティア「たんぼぼの会」ー

三島市立南小学校では、図書ボランティア「たんぼぼの会」の皆さんが読み聞かせや学校図書館の整備等の活動を行っています。「たんぼぼの会」の皆さんは、子どもたちに本の魅力を伝えたい、子どもたちの笑顔を見たいという願いのもと、積極的に活動され、授業に入り支援もしています。なかでも、年1回のワークショップは子どもたちに大好評です。今年度も三年連続して三島市出身の絵本作家であるスギヤマカナヨさんをお迎えして行いました。

子どもたちは、初めにスギヤマカナヨさん作「うんこいってきます！」の読み聞かせを聞きました。ボランティアの方々のパネルシアターを駆使した読み聞かせに、子どもたちは夢中になっていました。次に、スギヤマカナヨさんからの「どんな学校があるといいかな」という問いかけに、子どもたちは想像を膨らめ、思い思いの学校をイラストにして描いていきました。名付けて「学校だいすき大作戦！」です。

「給食が回転寿司だったら」、「学校がロケットだったら」等、夢のある学校のイラストがたくさん出来上がりました。ボランティアが作家と一緒に子どもたちを絵本の世界に招待したことで、子どもたちは自由な発想を生み出し表現することができたワークショップで



【スギヤマカナヨさんからの話】

した。「たんぼぼの会」の活動にヒントを得て、市内の学校の図書ボランティアも活動の幅を広げつつあります。まさに、たんぼぼの綿毛のように本の魅力を伝える活動が広がっています。



【ボランティアによる読み聞かせ】



【夢の学校がイラストに】

本の世界を一緒に楽しむー浜松市立内野小学校読み語りボランティア「アリスの会」ー

浜松市立内野小学校では、読み語りボランティアの「アリスの会」の皆さんが朝の時間に活動をしています。

「アリスの会」は内野小学校で、15年ほど前から「読み語り」を行っています。メンバーは、保護者のボランティアが34人、地域のボランティアが15人で構成されています。この日は、地元で英語塾を運営しているボランティアが6年生に中学校で使用する英語の教科書の読み語りをしたり、男性のボランティアが落語を読み語りをしたりし、子どもたちは、夢中になって聞いていました。

さらに、会の発足当時から活動しているボランティアが「ストーリーテリング」の手法で昔話を語っていました。このほかにも、本の内容に合わせて楽器を演奏したり、挿絵を描いて見せたりというように、メンバーがそれぞれ得意な分野を生かして、本の魅力を伝えていきます。



【「アリスの会」代表木下さんによる読み語り】


「アリスの会」では読み手も、聞き手も一緒に本の世界を楽しむという思いのもと「読み語り」を行っています。「読み語り」の活動後は、読んだ本のタイトルや子どもたちの様子をクラスごとのノートに記録し、学校の教職員と情報交換をしています。また、月1回程度の定例会を開き、それぞれが読んだ本の紹介をしたり、講師の方を招いた勉強会をしたりして、選書に生かしています。定例会の様子等は、便りで会のメンバーだけでなく、学校の教職員にも知らせています。

H25. 10. 25 (金)


**読み語りボランティア
アリスの会だより 10月号**
文責：木下真由

10月の定例会 6/14 (金) 10:00~ 図書室 参加者9名

<読み語り>
山下さん 「きょうはなんのひ」 瀬田貞二・作 林明子・絵 (福音館書店)



まみこがお父さんとお母さんの結婚記念日に仕掛けた手紙探し遊び。子どもたちが大好きな宝探しとその素敵な結末、わくわくドキドキしながら聴ける、心温まる家族のお話です。
見たことはあっても、読んだことがなかった人もいて、優しい山下さんの語りで素敵なお話に出会えひとときでした。その他、今月は1年生に「きょうはハロウィン」(福音館)を読んでいるそうです。



【「読み語りボランティア アリスの会だより」】

今後は学区の中学校での読み語りや、ブックトーク等の手法を取り入れた読み語りに取り組んでいきたいというところでした。「読み語り」の活動を通して一番うれしいのは、子どもたちが目を輝かせながら聴いてくれることと同時に、地域で会った時に声を掛けてくれる子どもがいることだそうです。本を介して子どもたちにいろいろな価値観を届けたいという「アリスの会」の思いのもと、内野小学校の子どもたちは地域で健やかに育っています。

学校と家庭・地域が一体となって、子どもの読書活動を進める様々な取組が、県下で盛んに行われています。このような取組により、子どもたちは本の魅力をたっぷりと感じ、日常的な読書活動へとつなげることができます。これからも、学校と家庭、地域との連携による読書活動等の情報がありましたら、お寄せください。

静岡県総合教育センター 生涯学習推進室は 学校図書館を支援します

困っていることや知りたい情報も、ありましたらぜひ御連絡ください。

- 1 配架の方法
- 2 選書の方法
- 3 図書の廃棄
- 4 いろいろな読書活動
- 5 ボランティアとの連携
- 6 年間計画の立て方 など

たとえば…!



<問い合わせ先>

静岡県総合教育センター生涯学習推進室

<電話番号> 0537-24-9715